

学科名	電気電子工学科						
科目名	科学的問題解決法						
科目区分	教養教育科目	単位数	2単位	開講時期	1年次後期		
必修・選択の別	必修(応用エレクトロニクスコース)/必修(エネルギー・環境コース)/必修(情報通信コース)						
担当者	電気電子工学科全教員						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料を用いて、分かりやすいプレゼンテーションができる</li> <li>・他者の報告を聞き、論点をまとめて質問し、説得力のある応答をすることができる</li> <li>・割り当てられた役割分担を果たすことができる</li> <li>・協調的に問題解決に当たることができる</li> </ul>						
日程と内容	第1回 チームの理解、プロジェクト1(1)－テーマ設定、役割分担 第2回 プロジェクト1(2)－調査活動 第3回 プロジェクト1(3)－活動報告 第4回 プロジェクト1(4)－報告書、改良点について議論、発表準備 第5回 プロジェクト1(5)－発表準備(スライド作成) 第6回 プロジェクト1(6)－発表準備(スライド作成) 第7回 プロジェクト1(7)－発表会 第8回 プロジェクト2(1)－テーマ設定、チームの組織と役割分担、調査活動 第9回 プロジェクト2(2)－調査活動 第10回 プロジェクト2(3)－活動報告 第11回 プロジェクト2(4)－改善点や未来予想図について議論 第12回 プロジェクト2(5)－プレゼンテーション作成 第13回 プロジェクト2(6)－プレゼンテーション作成・準備 第14回 プロジェクト2(7)－プレゼンテーション作成・準備 第15回 プロジェクト2(8)－プレゼンテーション(発表会)						
成績評価基準	定期試験			実技			60%
	臨時試験			部外評価			
	報告書・レポート	40%		プレゼンテーション			
	課題 演習			計			100%
授業到達目標の達成度	プロジェクト発表での評価を見る限り、チームとして授業到達目標は達成していると判断できる。チーム内の個人としては、ばらつきがあるようだが。						
反省点	今年度、学部で検討した新しい授業内容に沿って授業を構成し、実施した。チームとしての活動に重点を置いたが、科学的問題解決法という観点から、データ処理の手法についての学修が必要と思われる。						
来年度の計画	今年度の反省点に鑑み、データ処理の手法に関する授業内容を取り入れたい。						
授業評価アンケートに対するコメント	学生の不満などは、見受けられないように思う。全項目評価平均4以上、総合評価8.3。自学自習時間が少ないのも、この科目に関しては、特に問題とは思われない。						
履修登録者数	59名	定期試験 受験者数	56名	合格者数	56名	合格率	100%